

雨、等を特に注意警戒し敵をして成るべく炎天下遠距離より我を攻撃させる様に着意する事が必要である。

## 一〇、瓦斯防護

### 1. 防毒面を勝手に離すな

今度の敵は支那兵と異つて瓦斯を使ふかもしれぬ、苦しいからと言つて勝手に面を捨てるとまさかの時に間に合はぬ。

### 2. 装面の行動時間

炎熱下静止時に於ける装面は連続一時間内外は容易であるが装面のままの行動又は戦闘は一時間以上は無理である。

完全防護の運動及作業は連続約十五分を限度としなければならぬ、之を超えると著しく體力を消耗するから恢復には特別の注意を拂はねばならぬ、装

瓦斯防護

四五

0346

面して行ふ馬の運動は連続歩概ね十五分が限度である。

3. 装面するには

面をつける時汗の爲滑つて仲々難しいから顎を十分防毒面の中に挿入し之を支へとして両手で大きく締紐を上後方に引張りながら確實に被る注意が必要である。

4. 防毒面の手入

使つた後では乾いた布で十分汗を拭き取つて乾かす事が大切である。

5. 吸収罐は濡らぬ様に

熱帯地方は濕氣が非常に多いから防毒面の吸収罐は底の栓を十分にし油紙を確實に附けて濕氣を防がねばならぬ。又上陸や渡河の時には水が入らぬやうに連結管を挟み特に底の栓を忘れるな。

0347

## 6. 防毒被服は裸で着るな

ゴム製の防氣被服を暑いからといって直接裸體で着ることは却つて直射日光の影響を受けるのみならず瓦斯の危害を受け易いから必ず下着類を着た上で防毒衣を着なければならぬ、完防の際暑さを少しでも緩和するには出來たら防毒衣の上から時々水をかけると良い。

### 一一、通信兵の爲に

#### 1. 地棒に水を

雨の少い季節では地棒の接地抵抗が非常に大きく特に岩石地、海岸砂地等では地棒の地位に十分水を注ぎ水の無い時には西瓜やパイヤ等の水分の多い果實、野菜類を碎いて地中に埋め之に地棒を押し込むか、或は草木のある所を選ぶか場合によつては古い被覆線二、三百米（出来る丈長いのがよい）

通信兵の爲に

四七

0348